

英語 -1年生・アルファベットの書き方-

みなさん、こんにちは。お元気ですか。

1年生の課題、「iプリ」や「フォニックスペンマン」の中には、アルファベットの練習が多くあります。英語の勉強の初めに、まず覚えたいのが、アルファベットの大文字・小文字の読み方や書き方です。大文字は、文を書くときの1文字目や、人の名前、国や都市の名前（固有名詞）などを書くときに使います。ということは、文の中では、ほとんどの場合、小文字を使うことになります。

さて、アルファベットは全部で何文字あるでしょうか？・・・正解は26文字です。大文字と小文字の違いを意識しながら、今のうちにていねいに練習して覚えましょう。

また、英語の文字を書くときには、英語の罫線ノート（四線ノート）を使用します。上から三段目が太い線や赤色の線になっていて、基本となる線です。実は、それぞれの線には名前もついているのですよ。



余談ですが…

一番上の線を 「アセンダライン(Ascender line)」

二番目の線を 「ミーンライン(Mean line)」

三番目の基本となる線を

「ベースライン (base line)」

一番下の線を 「ディセンダライン(Descender line)」

といいます。

大文字は、すべてこの基本線（三段目の線＝ベースライン）より上に書きます。ベースラインよりはみだして下に書くことはありません。

小文字は、どうでしょうか？ 大きくいくつのグループに分かれると思いますか？・・・3つです。

これらを意識して書く練習をするだけでも、ずいぶんと整った文字になります。ていねいに書くと間違いも減り、単語の発音練習や文を読む練習の向上にもつながっていきます。

では、引き継ぎ、英語の学習をがんばってくださいね。

フォニックスペンマン（副教材）はすべてやり終えて、最初の英語の授業のときに提出します。 **Good luck! Have a nice day!**

大文字はすべてベースラインとアセンダラインの間に書く

小文字は??

A B C D E F G ... Z }

a c e m n o r s u v w x z }

b d f h i k l t }

g j p q y }

① ベースラインとミーンラインの間に書く

② ミーンラインから上に突き出てアセンダラインまで届くように書く

③ ベースラインから下に突き出てディセンダラインまで届くように書く

小文字は3つのグループに分かれます。書き方・書く場所に注意!